

【 臨床研究に関する情報の公開 】

高次脳機能障害で当院を受診された患者さまの試料・情報を用いた医学系研究に対する
ご協力のお願について

項 目	内 容
1. 研究課題名	高次脳機能障害を有する患者の転倒転落予防カンファレンスの有効性
2. 研究の対象者	2022年4月から2022年3月の間に、高次脳機能障害（記憶・注意障害）があり、当院の16階病棟で転倒・転落した患者のうち2事例
3. 研究期間	2023年1月18日～2025年3月31日
4. 研究実施体制と研究責任者	研究実施箇所：関西電力病院 16階病棟 研究責任者：16階看護師 花野 優
5. 本研究の意義・目的	今年度の上半期の高次脳機能障害のある患者の転倒・転落の事例を分析し、高次脳機能障害（記憶、注意障害）のある患者の転倒・転落のカンファレンスの有効性を明らかにしたい
6. 研究の方法	調査に必要なと思われる項目（ADL、MMT、国精研、FIM、MMSE、JCS、転倒スコア、危険度、レイアウト、離床センサー、カンファレンス開催理由、心療内科介入の有無、心療内科使用薬剤、心療内科以外の眠剤使用の有無）をピックアップし、対象患者の転倒転落カンファレンス実施日毎に項目内容を情報収集し、2事例の違いを環境的要因（外的要因）、患者個別的要因（内的要因）、管理体制や教育の要因（管理的要因）に当てはめて分析を行う。
7. 研究に用いる試料・情報の種類	ADL、MMT、国精研、FIM、MMSE、JCS、転倒スコア、危険度、レイアウト、離床センサー、カンファレンス開催理由、心療内科介入の有無、心療内科使用薬剤、心療内科以外の眠剤使用の有無
8. 試料・情報の保管方法と廃棄方法	情報管理担当者が研究用パソコン内にデータとして保管し、施錠可能なデスクにおいて保管管理する。 廃棄については、研究発表後、1年間保管し、データ廃棄の際は、複数名で完全にデータを消去したことを確認する。
9. 個人情報の保護について	情報収集には、診療IDや患者識別コード等を用いることで匿名化されています。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者へ知られたりすることはありません。研究にご自身の臨床データや資料を提供したくない場合は、11. 問い合わせ・苦情等の窓口へお申し出ください。お申し出いただいても、診療等に不利益が生じることはありません。
10. 情報管理責任者	関西電力病院 16階病棟 看護師長 中山 絵梨
11. 問い合わせ・苦情等の窓口	〒553-0003 大阪市福島区福島2丁目1番7号 関西電力病院 16階病棟 電話：06-6458-5821（代表）